



人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

人権のまど

まちづくり推進課 (内線311)



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん



12月4日～10日は人権週間
12月10日は人権デーです

「『誰か』のことじゃない。」
～ 虐待 いじめ 差別のない社会へ～

法務省と全国人権擁護委員連合会では、国際連合において世界人権宣言が採択された12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権尊重思想のより一層の普及高揚を目的として啓発活動に努めています。

人権問題や悩み事などでお困りの方は、人権擁護委員による毎月の人権相談（12月は特設相談：午前10時～午後3時 土岐市文化プラザ3階 研修室3・4）または岐阜地方法務局多治見支局（☎0572-22-1002）に相談してください。秘密は固く守られます。

令和3年度 啓発活動強調事項

- 1 女性の人権を守ろう
- 2 子どもの人権を守ろう
- 3 高齢者の人権を守ろう
- 4 障がいを理由とする偏見や差別をなくそう
- 5 部落差別（同和問題）を解消しよう
- 6 アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- 7 外国人の人権を尊重しよう
- 8 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- 9 ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別をなくそう
- 10 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- 11 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- 12 インターネットによる人権侵害をなくそう
- 13 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- 14 ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- 15 性的指向及び性自認（性同一性）を理由とする偏見や差別をなくそう
- 16 人身取引をなくそう
- 17 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう



誰一人取り残さない 安全で安心なやさしいまちを目指して

Re Start 再犯防止の情報をお届けします

まちづくり推進課 (内線311)

Vol. 4 ～ 更生保護を支える人々～ 土岐地区BBS会を知っていますか？

BBS会は、非行少年などさまざまな立場の少年に「兄」や「姉」のような立場で接し、一緒に悩み、学び、楽しむことを通じて、少年の立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体です。

土岐地区BBS会は、1957年に発足し、その活動を行っていましたが、1975年ごろから、事実上の休止状態となっていました。再興のきっかけとなったのは、土岐保護区保護司会が市内の高校に呼び掛け、20人の会員を集めて2010年に発足した「土岐地区BBS・Jr」でした。この会員たちが高校を卒業し、Jrの経験を活かして、40年近くの時を経て2013年に土岐地区BBS会が再結成されました。

BBS会の主な取り組みは、さまざまな悩みを抱える子どもたちと、友達として触れ合う「ともだち活動」や「社会貢献活動」、「非行防止活動」などちょっと年長だからこそその目線で、少年の立ち直りや自立などを支えてくれています。

土岐地区BBS会 会長 渡辺康平さんのお話



私は、土岐地区BBS会に入会して11年(BBS・Jrを含む)になります。

活動の中で気付いたことは、私たちは「大切な居場所づくり」を行っているということです。居場所がない少年たちは、非行グループに入ってしまったって非行に走り、更生してもまた非行グループに誘われて再犯を起こしてしまうことがあります。

それぞれの家庭環境や境遇は異なりますが、彼らは自分が居てよい「居場所」を求めているのではないのでしょうか。私たちは「居場所づくり」をテーマに活動し、居場所を提供できればと考えています。

活動の一つとして、月に1回、泉西公民館で「ひまわりテニス教室」を行っています。初心者でも簡単にできるスポンジテニスの教室です。一緒に汗を流しませんか。

詳しくは、土岐更生保護サポートセンターまで。
(☎541111・内線672)